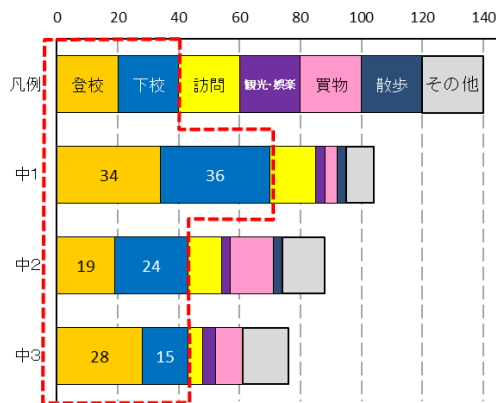
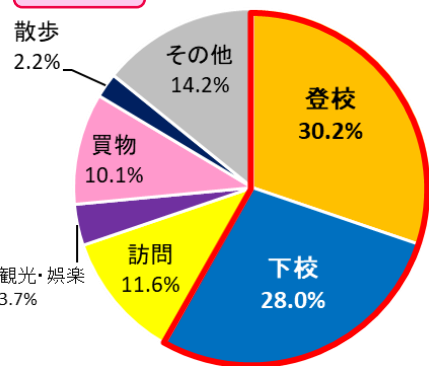




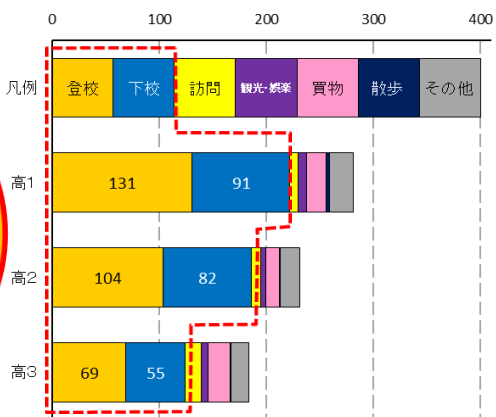
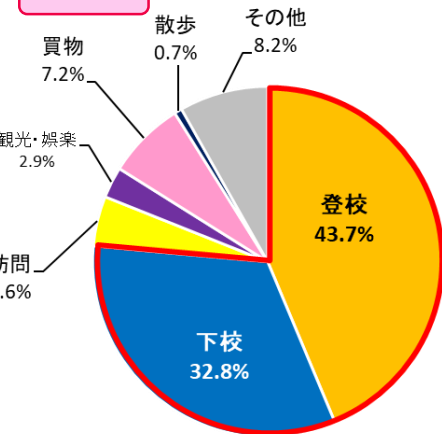
中学・高校生の自転車事故を防ぐ

自転車乗用中に死傷したときの通行目的

中学生



高校生



自転車乗用中の交通事故死傷者を年齢別に見ると、16歳が最多です。次いで17歳、15歳と続き、中学・高校生の被害が目立つ状況です。

中学生では約60%、高校生では約75%が登下校時に交通事故の被害に遭っています。特に1年生がその傾向が顕著です。

自転車は誰でも乗ることのできる手軽な乗り物ですが、「車両」に分類されます。

- ・車道の左側を通行していますか？
- ・歩道では歩行者を優先していますか？
- ・ヘルメットは着用していますか？
- ・一時停止で止まって、安全を確認していますか？
- ・道路を並んで走っていませんか？
- ・イヤホンで音楽を聴きながらや、スマートフォンを見ながら走っていませんか？
- ・傘さし運転をしていませんか？
- ・「みんなやっているから」と交通ルールを守ることを軽く考えていませんか？

交通ルールをしっかりと守って、交通事故を起こさないことが、何よりも大切なことです。

ご存じですか？

自転車安全利用5つの約束

1. 歩道は歩行者優先！
2. 交差点では必ず安全確認！
3. 暗くなったらライトと反射材！
4. 二人乗り・並進の禁止！
5. 「ながら運転」の禁止！

この5つの約束を、皆さんはちゃんと守れていますか？

